



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場会社名 三谷産業株式会社
 コード番号 8285 URL <http://www.mitani.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 饗庭 達也
 (氏名) 梶谷 忠博
 配当支払開始予定日

TEL 076-233-2151
 平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,462	3.2	325	86.4	474	205.1	111	—
25年3月期第2四半期	29,522	8.5	174	△4.9	155	△62.9	△424	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 774百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △429百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	2.03	—
25年3月期第2四半期	△7.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	50,944		21,762	41.1			381.04	
25年3月期	50,198		21,159	40.6			371.02	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,952百万円 25年3月期 20,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	66,500	4.7	1,490	30.8	1,680	52.3	750	509.2	13.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	55,176,000 株	25年3月期	55,176,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	187,532 株	25年3月期	181,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	54,991,654 株	25年3月期2Q	54,998,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	13
(1) 受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当上半期の売上高は304億62百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は3億25百万円（前年同期比86.4%増）、経常利益は4億74百万円（前年同期比205.1%増）、第2四半期純利益は1億11百万円（前年同期の第2四半期純損失は4億24百万円）となりました。

売上高の増収要因は以下のとおりです。

- ①樹脂・エレクトロニクス関連事業は、自動車部品分野での新型車種向け金型・樹脂成形品が順調に増加しました（6億46百万円の増加）。
 - ②化学品関連事業は、北陸地区での化成品の増加がジェネリック医薬品向け原体製造での減少をカバーしました（4億45百万円の増加）。
 - ③エネルギー関連事業は、産業用燃料の販売数量増および販売単価の上昇により増加しました（3億45百万円の増加）。
- 一方、
- ④空調設備工事関連事業は、当上半期の売上計上に寄与する案件総量が前年同期に比べ少なく減少しました（7億96百万円の減少）。

営業利益の増加要因は以下のとおりです。

- ①住宅設備機器関連事業は、施工・納期管理の徹底による原価圧縮が奏功し売上総利益が増加しました（営業損失2億36百万円の減少）。
 - ②樹脂・エレクトロニクス関連事業は、売上増および生産効率の改善に伴い売上総利益が増加しました（営業損益1億24百万円の増加）。
 - ③空調設備工事関連事業は、売上減に伴い売上総利益が減少しましたが、経費削減により営業利益の減少額を最小限に留めました（営業利益25百万円の減少）。
- 一方、
- ④化学品関連事業は、医薬品向け原体製造での円安に伴う原材料費の増加に加え、医薬品向け原体製造およびベトナム化成品における将来の事業拡大に向けた基盤構築や人員増強等の先行投資により減少しました（営業利益2億5百万円の減少）。

経常利益は、営業利益の増加ならびに持分法による投資損失の減少により増加しました。

第2四半期純利益は、経常利益の増加ならびに投資有価証券評価損の減少により増加しました。

<セグメントの状況>

当連結会計年度における営業損益予想の大きいセグメント順に記載します。

〔化学品関連事業〕

国内化成品の売上高は、北陸地区での基礎化学品の新規ビジネスおよび大手電子部品メーカー向け機械・設備販売が伸長したことから増加しました。

医薬品向け原体製造の売上高は、需要家の在庫調整に伴う一部の製造品目での減産により減少しました。

ベトナム化成品の売上高は、北部新規顧客の稼働率向上が寄与し増加しました。

全体の売上高は前年同期比3.1%増の147億89百万円となりましたが、営業利益は、医薬品向け原体製造での円安に伴う原材料費の増加に加え、将来の事業拡大に向けた先行投資により前年同期比25.0%減の6億18百万円となりました。

〔情報システム関連事業〕

受注高は、主力のシステムインテグレーション案件の受注が計画を上回り、さらにPOWER EGG®案件および電子デバイス部品案件の受注も堅調に進展したことから、アウトソーシング受託案件での受注減をカバーし、前年同期比23.0%増の36億89百万円となりました。売上高は上記案件の受注増により前年同期比7.3%増の35億26百万円、営業利益は前年同期比8.0%増の2億36百万円となりました。

〔空調設備工事関連事業〕

受注高は、首都圏・北陸地区ともにリニューアル工事案件を増加させることができ、さらに、首都圏では医療機関、北陸では工場の新築工事案件を受注したことから、前年同期比31.1%増の50億10百万円となりました。売上高は、当上半期の売上計上に寄与する案件総量が前年同期に比べ少なく18.2%減の35億82百万円となりました。一方、営業利益は、売上減による売上総利益の減少を経費削減によりカバーした結果、前年同期比27.2%減の68百万円と利益減を最小限に留めることができました。

〔エネルギー関連事業〕

産業用燃料は、主力のA重油・C重油は販売競争激化の環境下において前年同期並みの販売数量を確保し、販売店向けの灯油・軽油・ガソリンは大幅に伸長しました。また、民生用LPガスも集合住宅向けを中心に販売数量が増加し、加えて石油製品およびLPガスとも販売単価が前年同期に比べ強含みに推移したことから、売上高は前年同期比12.0%増の32億11百万円、営業利益は前年同期比10.2%増の77百万円となりました。

〔樹脂・エレクトロニクス関連事業〕

樹脂成形品は、主力の自動車部部分野について、前年度下半期より量産を開始した新型車種向け樹脂成形品の生産量が順調に拡大し売上高が増加しました。

金型も、主力の自動車部部分野を中心に売上高は計画および前年同期を上回りました。

全体の売上高は、前年同期比65.8%増の16億27百万円、営業利益は65百万円となりました（前年同期は営業損失59百万円）。

〔住宅設備機器関連事業〕

受注高は、北陸地区はほぼ計画どおり進捗し、首都圏のシステム収納は計画を上回りましたが、首都圏の主力商品であるユニットバス・システムキッチン・洗面化粧台について、値下げ圧力が強まるなか、採算面から受注を断念せざるを得ない状況が続いたことから前年同期比11.6%減の51億15百万円となりました。売上高は、特に首都圏において、施工・納期管理の徹底により計画通り完工・引き渡しができてきたことから前年同期比1.8%増の41億95百万円、営業損益は、原価低減の徹底により1億93百万円の営業損失と前年同期に比べ損失額が減少しました（前年同期の営業損失は4億30百万円）。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、509億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円増加いたしました。主な要因は、仕掛品10億17百万円の増加、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定7億48百万円の増加、投資有価証券8億76百万円の増加、現金及び預金3億74百万円の減少、受取手形及び売掛金11億57百万円の減少、完成工事未収入金8億1百万円の減少であります。

負債残高は、291億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加いたしました。主な要因は、流動負債のその他に含まれる前受金6億2百万円の増加、短期借入金1億22百万円の増加、長期借入金2億66百万円の増加、支払手形及び買掛金4億40百万円の減少、工事未払金1億30百万円の減少であります。

純資産残高は、217億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億2百万円増加いたしました。

これらの結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の40.6%から41.1%となり、1株当たりの純資産額は、前連結会計年度末の371円2銭から381円4銭に増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は39億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億76百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は8億90百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益4億42百万円、減価償却費5億22百万円、売上債権の減少額19億73百万円、その他に含まれる前受金の増加額6億2百万円であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額12億54百万円、仕入債務の減少額5億84百万円、法人税等の支払額3億74百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は13億57百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出12億26百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は67百万円の収入となりました。主な要因は、短期及び長期の借入金の純増額が合わせて3億63百万円、配当金の支払額1億65百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,448	4,074
受取手形及び売掛金	16,913	15,755
完成工事未収入金	3,174	2,372
商品及び製品	996	1,259
仕掛品	1,815	2,833
未成工事支出金	19	42
原材料及び貯蔵品	578	538
その他	1,090	1,061
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	29,032	27,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,912	5,158
土地	3,977	3,949
その他（純額）	1,756	2,470
有形固定資産合計	10,646	11,578
無形固定資産		
ソフトウェア	501	503
その他	543	545
無形固定資産合計	1,045	1,049
投資その他の資産		
投資有価証券	8,193	9,069
その他	1,287	1,323
貸倒引当金	△7	△9
投資その他の資産合計	9,473	10,383
固定資産合計	21,165	23,011
資産合計	50,198	50,944

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,757	10,317
工事未払金	1,147	1,017
短期借入金	10,025	10,148
未払法人税等	379	280
役員賞与引当金	36	9
受注損失引当金	68	38
完成工事補償引当金	37	27
その他	2,938	3,120
流動負債合計	25,391	24,958
固定負債		
長期借入金	835	1,102
退職給付引当金	123	89
役員退職慰労引当金	443	439
資産除去債務	84	85
その他	2,159	2,506
固定負債合計	3,646	4,223
負債合計	29,038	29,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	2,702	2,702
利益剰余金	12,639	12,585
自己株式	△39	△40
株主資本合計	19,004	18,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,928	2,498
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△528	△495
その他の包括利益累計額合計	1,399	2,002
少数株主持分	755	810
純資産合計	21,159	21,762
負債純資産合計	50,198	50,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,522	30,462
売上原価	24,920	25,508
売上総利益	4,602	4,954
販売費及び一般管理費	4,427	4,628
営業利益	174	325
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	61	65
負ののれん償却額	9	8
その他	178	139
営業外収益合計	254	217
営業外費用		
支払利息	31	37
持分法による投資損失	192	5
その他	49	26
営業外費用合計	273	69
経常利益	155	474
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	6
減損損失	—	28
投資有価証券評価損	111	—
その他	0	—
特別損失合計	113	34
税金等調整前四半期純利益	46	442
法人税等	331	271
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△284	171
少数株主利益	139	59
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△424	111

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△284	171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	566
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	89	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	4
その他の包括利益合計	△145	603
四半期包括利益	△429	774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△569	714
少数株主に係る四半期包括利益	140	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46	442
減価償却費	496	522
減損損失	—	28
負ののれん償却額	△6	△6
持分法による投資損益（△は益）	192	5
投資事業組合運用損益（△は益）	9	△12
投資有価証券評価損益（△は益）	111	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	3
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△31	△27
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△22	△3
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△5	△34
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△8	△30
受取利息及び受取配当金	△66	△69
支払利息	31	37
投資有価証券売却損益（△は益）	△3	—
固定資産売却損益（△は益）	△0	△2
固定資産除却損	2	6
売上債権の増減額（△は増加）	1,466	1,973
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,438	△1,254
仕入債務の増減額（△は減少）	△618	△584
その他	674	225
小計	823	1,219
利息及び配当金の受取額	76	81
利息の支払額	△32	△35
法人税等の支払額	△555	△374
営業活動によるキャッシュ・フロー	311	890

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△161	△1,226
有形固定資産の売却による収入	2	11
無形固定資産の取得による支出	△22	△75
投資有価証券の取得による支出	△13	△26
投資有価証券の売却による収入	3	—
貸付けによる支出	△7	△34
貸付金の回収による収入	3	8
その他	△22	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219	△1,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	116	338
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△72	△123
長期借入れによる収入	400	178
長期借入金の返済による支出	△145	△153
配当金の支払額	△165	△165
少数株主への配当金の支払額	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	128	67
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	22
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	223	△376
現金及び現金同等物の期首残高	2,793	4,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,016	3,953

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	化学品関連 事業	情報システ ム関連事業	エネルギー 関連事業	空調設備工 事関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	14,343	3,152	2,749	4,362	980	3,884	29,473	49	29,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	133	116	17	0	235	504	293	798
計	14,344	3,285	2,865	4,379	981	4,120	29,978	342	30,321
セグメント利益又は損 失（△）	824	219	70	93	△59	△430	717	62	780

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンション・ビル等の保全管理の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	717
「その他」の区分の利益	62
セグメント間取引消去	75
全社費用（注）	△681
四半期連結損益計算書の営業利益	174

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	化学品関連 事業	情報システ ム関連事業	空調設備工 事関連事業	エネルギー 関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	14,788	3,402	3,558	3,084	1,627	3,941	30,403	59	30,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	124	24	126	0	254	531	349	881
計	14,789	3,526	3,582	3,211	1,627	4,195	30,934	409	31,344
セグメント利益又は損 失（△）	618	236	68	77	65	△193	872	84	956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンション・ビル等の保全管理の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	872
「その他」の区分の利益	84
セグメント間取引消去	103
全社費用（注）	△734
四半期連結損益計算書の営業利益	325

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

(単位：百万円)

セグメントの状況	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日)	
	受注高	前年同期比 (%)	受注残高	前年同期比 (%)
情報システム関連事業	3,689	123.0	5,333	167.3
空調設備工事関連事業	5,010	131.1	6,979	107.0
住宅設備機器関連事業	5,115	88.4	8,932	108.3

(注) 1. 受注実績の金額には、セグメント間の内部受注高および受注残高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

(単位：百万円)

セグメントの状況	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	売上高	前年同期比 (%)
化学品関連事業	14,789	103.1
情報システム関連事業	3,526	107.3
空調設備工事関連事業	3,582	81.8
エネルギー関連事業	3,211	112.0
樹脂・エレクトロニクス関連事業	1,627	165.8
住宅設備機器関連事業	4,195	101.8
その他	409	119.5
合計	31,344	103.4

(注) 1. 販売実績の金額には、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。